

講演会

ISO26000 and its impact on CSR performance of companies in regional Japan

ISO26000 の CSR マネジメントへのインパクト：地域中小企業の CSR パフォーマンス特性

2010年発行のISO26000のCSRマネジメント原則や課題を枠組みに、国際的なCSR経営の比較分析を展開することを念頭に置いた研究構想の中で、本講演では日本企業、特に和歌山県下所在企業のCSRに対する取り組みの分析結果とCSRマネジメント上の課題を提示すると共に、豪州企業のCSRコミットの動向、特徴及び日本企業との違いなどを講話頂く。

豪州企業と日本企業との比較分析を展開する枠組みやコンセプトとして、地域（リージョナル）における中小企業という着想から、CSRパフォーマンスの比較分析とその要因の考察を行う。

※本講演および質疑応答は英語で行われます。

講演者 **Dr. Anura De Zoysa**



講師紹介

Anura De Zoysa 氏は Australia NSW 州の University of Wollongong, School of Accounting, Economics and Finance の Senior Lecturer として研究・教育活動に従事している。研究関心はコスト・マネジメント、生産管理、企業統治、グローバル・シェアリングなど幅広く、アジア太平洋地域に展開する企業を中心に、国際比較分析アプローチを得意とする。豪州の CPA (certified public accountant) 資格を有し、実務的観点からの考察・分析をも得意とする。

2009年、The Asian Academy of Applied Business Conference において、2014年 AFAANZ Conference において、それぞれ共著論文で、二度の最優秀論文賞を受賞している。

日時 2016年 **11月17日** **木** 15:00~16:00

会場 **和歌山大学経済学部本館棟 5階
第一会議室**

和歌山大学経済学部地域・国際連携オフィス主催